

てがたんレポート Vol. 3 No. 6 (2006年6月：通巻27号)

★観察コース：鳥博スタート→道路沿い→藤棚→遊歩道→釣り堀前広場（まとめ＆解散）

★観察日時／天気：2006年6月10日（土）10:00～12:00／晴れ

★参加人数：16人

★観察案内&記録：

- ・ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：伊東茂子、木村稔、楠本喜弘、楠本直子、小泉伸夫、中野久夫、弘貴さと子、古川克彌
- ・鳥博職員：時田賢一、斉藤安行、岡 廣志

今回のテーマ
・アヤメ科の花のつくり
・手賀沼の夏鳥観察

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

【鳥類】カイツブリ、カワウ、ダイサギ、カルガモ、オオバン、コアシサシ、キジバト、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、シジュカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
(外来種や家禽) コブハクチョウ、バリケン

【花の咲いていた植物】

- ・黄色：キツネノボタン、ハハコグサ、オッタチカタバミ、カタバミ、コモチマンネングサ、コマツヨイグサ、スカシタゴボウ、オニノゲシ、ノゲシ、ノボロギク、オオジシバリ、アカカタバミ
- ・白：ドクダミ、ヒメジョオン、ハルジオン、ハキダメギク、カワジシャ、ナガミヒナゲシ、ネズミモチ（樹木）、オランダミミナグサ、ノミノツツリ
- ・赤：（アカバナ）ユウゲショウ、コヒルガオ、ウスベニチチコグサ、ウラジロチチコグサ
- ・青：ニワゼキショウ、トキワハゼ、ツユクサ、オオイヌノフグリ、キュウリグサ
- ・イネ科の穂：エノコログサ、クサヨシ、カモガヤ（オーチャードグラス）、ネズミムギ、イヌムギ、カモジグサ（変種のタチカモジグサ）など・・・
- ・カヤツリグサ科の穂：ウマスゲ

*その他、水生植物園のハナショウブ（園芸種）の摘んだ花をもらい解剖し、アヤメ科の花のつくりを観察しました。6枚の花びら（外花被片3枚、内花被片3枚）、花弁化した雌しべの花柱と柱頭、その下に隠れた雄しべ・・・。

【昆虫】

- ・チョウ類：モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、キタテハ、ゴマダラチョウ、ヒメジャノメ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、サトキマダラヒカゲ、ナミアゲハ
- ・トンボ類：シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、ウスバキトンボ、アカネ類のヤゴ（田んぼの中）、ハナアブの仲間の幼虫（田んぼの中）
- ・カメムシ類：マルカメムシ、ヨコヅナサシガメなど
- ・甲虫類：コフキゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、クロウリハムシ、オオヒラタシテムシ、ナミテントウ、セアカゴミムシ、ゲンゴロウ科の一種の幼虫（田んぼの中）、ショウカイボン科の一種、ハナアブの一種の幼虫（田んぼの中）
- ・バッタ類：タンボコオロギ、ノミバッタ、ヒシバッタ、キンヒバリ（声）、マダラスズ（声）、ウスイロササキリ幼虫、ショウリョウバッタ幼虫

【クモ類】

- ・アリグモ、シロカネイソウロウグモ、ギンメッキゴミグモ、ゴミグモ、コガネグモ、オニグモ、クサグモ

【両生類】

- ・アマガエル
(成体、オタマジャクシ)

【は虫類】

- ・ニホンカナヘビ
(卵をもったメスを観察)



↑
市民スタッフ古川さんが準備してくれた
身近なニレ科植物の葉の識別ガイド



↑
市民スタッフ弘貴さんが準備してくれた花観察ガイド

6月の観察アルバム

イネ科植物は難しい・・・
「てがたん」コースにあるものから
覚えてみましょうか・・・

クズの葉の上にはたくさんの
コフキソウムシがいました



ハナショウブでアヤメ科の
花のつくりを勉強中

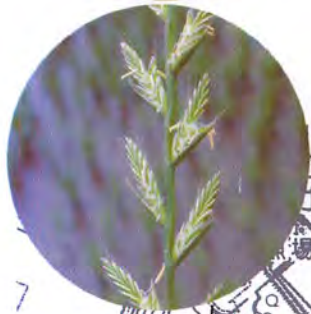
イヌムギ

ムギクサだと思うのですが
いかがでしょうか？



やまと君がルリシジミを
キャッチしました

タチカモジグサ (アオ
カモジグサの一変種)
市民スタッフの古川さ
んが調べてくれました



ハナショウブが花盛り

ネズミムギ

榊野さんがヤナギの木に
キクラゲ発見！！



X字に「隠れ帯」を張った
コガネグモの幼体の巣

ヨシ原で繁殖する
オオヨシキリ (夏鳥)



みんなでじっくり観察で
きたオオヨシキリ (鳥は
なかなかじっとしてい
はくれません)



お腹のふくらんだ
(産卵前?) カナヘビ



マイマイガの幼虫
(派手なデザインの毛虫です)

